

## 香りのある植物



犬や猫、牛やライオンなど動物にはそれぞれ特有のにおいがあります。同じように草花や木にも特有のにおいがあります。香りは動物に比べると弱いので、なかなか気がつきません。さいばいしている植物ではバラやユリなど香りの強いものがあります。



### ヨモギ

キクのような切れこみのある葉の植物で、野原、道ばたなどにたくさん生えています。葉を手でもむとよい香りがします。ヨモギもちの材料になっています。



### オランダハッカ

だ円形の葉をつけた高さ40cmくらいの植物です。7月～9月ごろ、ブラシのような白い花をつけます。葉をもむと、ハッカの匂いがします。



### キュウリグサ

背の低い植物で、春に小さな星型の青い花をつぎつぎにつけます。葉をもむとキュウリの香りがします。



### ニオイタチツボスミレ

ハート型をした葉のスミレで林の近くにかたまって生えています。4～5月ごろに紫色の花をたくさんつけます。近くに行くとよい香りがします。



### ヘクソカズラ

つる植物で、まわりの植物にからみついて上へ上へとのぼっていきます。花はつつ型の白い花で、真ん中が赤色です。花はかわいいのですが、葉や茎にくさいにおいがあります。



### ドクダミ

ハート型をした葉の植物で、日かげにかたまって生えています。種ではなく、地下茎(ちかけい=地中にのびた茎)をのぼして横に広がっていき、6～7月ごろに白い花をつけます。葉や茎にくさいにおいがあります。

## 香りのある植物

ジンチョウゲやクちなシ、キンモクセイなどは花が咲くと香りが強いので、遠くからでもよく分かります。しかし、山に生えている木では、それほど強いものはありません。



スイカズラ

林のへりによく生えているつる植物で、まわりの木にからみついています。5～6月ごろ、ラップのような形の花をつけます。花の色は初めは白く、しだいに黄色に変わります。花は夕方開き、よい香りがします。花をとって吸うとあまい味がします。



クロモジ

ならやまでは山の中に1本しか見つかっていません。春、まだ葉が出る前に小さな黄色の花をつけます。枝をおると、非常によい香りがします。そのため、お菓子を食べるようじや、おはしに利用されています。



ヒサカキ

私たちの背くらいの高さの木で、山の中にたくさんあります。3～4月ごろ、小さなつぼのようなクリーム色の花をいっぱいつけます。この花はガスがもれたようなくさいにおいがします。秋には黒い実がたくさんなります。



カラスザンショウ

コナラの木がかれた後にたくさん生えてきました。枝には大きなトゲがあります。サンショウの仲間ですが、葉の香りはそれほど強くありません。



ニセアカシア

丸い葉をつけた大きな木で、枝にはするどいトゲがたくさんついています。5～6月ごろ、フジのような白い花をつけます。よい香りがあり、この花からミツバチが集めたはちみつは高級品です。